

ボートレースの話題が集まるメディア向け情報誌

プロペル PROpel



BOAT VISION

ボートレースでは
女子レーサー達が輝いている!!

SOCIAL RELATION

女子ボートレーサー長嶋万記の
「マキプロジェクト」

BOATRIVIA

女子レーサーとしての
有利と不利

2017 **2** Feb.

ボートレース PR情報誌

GII第1回レディースオールスター

ファンが選んだ女子レーサーたちの

祭典

RACE NAVI

表紙レーサー 平山智加

ドリーム戦出場予定レーサー



平山智加
Chika Hirayama



遠藤エミ
Emi Endo



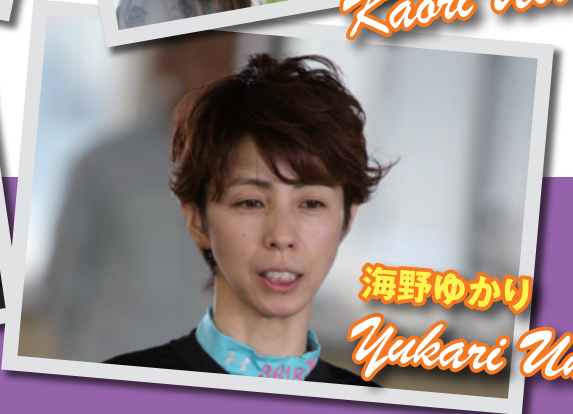
松本晶恵
Akie Matsumoto



魚谷香織
Kaori Uotani



長嶋万記
Maki Nagashima



海野ゆかり
Yukari Unno

1st レディースオールスター

GII LADIES ALL STARS

まさしく人気投票!!

ファンが選んだ女子レーサーたちの 祭典 第1回大会はもうすぐ開催!!

もうすぐ、待ちに待ったボートレースの新しい祭典が始まる。2月28日から3月5日まで、ボートレース宮島(広島県)で開催される第1回レディースオールスターだ。ファン投票によって選ばれた女子レーサーのみで競う大会、どんな盛り上がりを見せるのか、ファンのみならず、選ばれた女子レーサーたちも、ワクワクしているはずだ!

出場選手決定

※得票数の順に表示

順位	レーサー名	ランク	年齢	出身	得票数
1位	平山智加	A1	31	香川	13,287
2位	遠藤エミ	A1	29	滋賀	10,253
3位	長嶋万記	A1	35	静岡	9,697
4位	松本晶恵	A1	29	群馬	8,389
5位	魚谷香織	A1	31	山口	7,257
6位	守屋美穂	A1	28	岡山	6,293
7位	竹井奈美	A1	27	福岡	6,057
8位	海野ゆかり	A1	43	広島	5,802
9位	日高逸子	A1	55	宮崎	5,723
10位	寺田千恵	A1	47	福岡	5,177
11位	大瀧明日香	A1	37	静岡	4,664
12位	田口節子	A1	36	岡山	4,380
13位	宇野弥生	B1	30	埼玉	3,773
14位	西村歩	A2	31	大阪	3,408
15位	今井美亜	A2	26	富山	3,193
16位	香川素子	A1	40	大阪	3,124
17位	富樫麗加	B1	27	東京	3,003
18位	山下友貴	A2	30	静岡	2,800
19位	藤堂里香	B1	29	福井	2,786
20位	高田ひかる	B1	22	三重	2,714
21位	永井聖美	A2	38	愛知	2,711
22位	加藤綾	B1	33	三重	2,688
23位	島田なぎさ	B1	29	埼玉	2,644
24位	平田さやか	A2	32	東京	2,438
25位	大山千広	B1	21	福岡	2,230
26位	深尾巴恵	B1	24	群馬	2,211

順位	レーサー名	ランク	年齢	出身	得票数
27位	山川美由紀	A1	50	香川	2,104
28位	藤崎小百合	A1	33	鹿児島	2,051
29位	三浦永理	A2	34	静岡	2,041
30位	樋口由加里	A2	29	岡山	2,008
31位	中谷朋子	A1	40	兵庫	1,945
32位	川野芽唯	A1	30	福岡	1,889
33位	倉持莉々	B1	23	茨城	1,722
34位	豊田結	B1	23	静岡	1,719
35位	水野望美	B1	28	愛知	1,637
36位	西村美智子	B1	32	香川	1,630
37位	廣中智紗衣	B1	36	愛知	1,553
38位	木村沙友希	B1	32	静岡	1,481
39位	岸恵子	A2	44	徳島	1,470
40位	向井田真紀	B1	29	広島	1,445
41位	鈴木成美	B1	30	静岡	1,431
42位	櫻本あゆみ	B1	29	栃木	1,410
43位	小池礼乃	B1	26	福岡	1,214
44位	細川裕子	A1	35	愛知	1,165
45位	岩崎芳美	A1	44	熊本	1,113
46位	津田裕絵	A2	30	山口	1,042
47位	後藤美翼	B1	27	東京	1,041
48位	谷川里江	A2	49	愛知	1,034
49位	大橋由珠	B1	21	茨城	1,028
50位	落合直子	A2	32	大阪	955
推薦	水口由紀	A1	44	京都	771
推薦	角ひとみ	A2	48	広島	706

2016年12月に行われたファン投票の結果、第1回レディースオールスターには表の52人のレーサーが選出された(推薦2人を含む)。ランク別の人数はA1が20人、A2が12人、B1が20人で、またデビュー2年目の若手から30年以上のベテランまで年齢層も幅広い。初日12Rに目玉レースとして行われるドリーム戦には、ファン投票上位5選手と、地元代表として海野ゆかりが出走予定だ。

女子戦人気は 右肩上がり

ここ数年、女子レーサーのみで競われる「女子戦」の人気は上昇一途。2000年頃は年間で20戦前後だった開催数が、今では35戦程度も開催されるようになったほどだ。売上も大きく伸び、レース場によっては通常のレース(一般戦)に比べて2倍、3倍という売上を記録することもある。この人気の秘密は、女子レーサーのレーサーとしての個性が分かりやすい、同じレーサーが対戦することも多いので予想がしやすいなど、いろいろと考えられる。女子レーサーをある意味でアイドル的にとらえるファンもいることも、そのひとつだろう。

女子レーサーの アイドル性に注目!

アイドルとしての女子レーサー人気、その高まりによって生まれたのが今回のレディースオールスターともいえる。ファン投票によって出場レーサーを決めるレースは、もうひとつ男女混合のSGボートレースオールスターがある。ただ、その投票対象レーサーは最高ランクのA1のみで、強さと人気を兼ね備えたレーサーが出場を許される。対してレディースオールスターの投票対象レーサーはA1・A2・B1となっており、実績に差があったとしても、ファンに人気があるならば選出される。ファンのみならず、レーサーを始め関係者たちもその結果に注目していた。

注目大会としては 異例のレース展開も?

選出されたレーサーの中には、デビュー間もないレーサーや、実績が少ないレーサーもいる。となると第1回大会はどんな様相を呈するのか非常に興味深い。というのも、全国的に注目を集めるレースでは、出場レーサーの実力が拮抗しており、レースの予想(舟券の人気)が特定のレーサーに偏ることは少ない。しかしレディースオールスターでは予想材料となる過去のレース情報が少なかったり、実力の幅が広がることが予想される。そのため、実績ある特定の女子レーサーに人気が集まったり、新進気鋭の女子レーサーによるあっと驚く大番狂わせが起こるかもしれない。オープニングを待たずばかりだが、華やかな大会になることは間違いなさだろう。



昨年末のプレミアムGIクイーンズクライマックスでは松本晶恵が優勝。



GIIレディースチャレンジカップは、女子戦のもうひとつのGIIレース。16年の第3回大会では遠藤エミが優勝した。

記者発表会

1月17日には第1回レディースオールスターの記者発表会が行われ、ここで選出順位もリリースされた。発表会には出場レーサーの海野ゆかり、平山智加、守屋美穂が登場し意気込みを語ったが、「記念すべき第1回を成功させたい」という思いは3人に共通していた。またリオ五輪女子重量挙げ48kg級銅メダリストの三宅宏実さんがゲストとして招かれ、女子アスリートを取り巻く状況などについてトークを交わした。三宅さんは3月5日のレディースオールスター優勝者表彰セレモニーにも登場する予定。なお、4人が手にしているのはボートレース宮島の地元特産品として知られるしゃもじ。ここに今年の抱負を各々が書き込んだ。



ボートレースでは、GII以上のグレード(格)の高いレースが新設されることはそれほど多くない。過去10年間では、若手レーサーが対象のGIヤングダービーと女子の獲得賞金額上位レーサーが出場するプレミアムGIクイーンズクライマックスだけ。今回さらに女子戦が生まれたことは、その人気上昇の結果といえる。



1954年、ボートレース大村(長崎県)での女子戦優勝戦に出場したレーサーたちのスナップ。

女子レーサーの誕生と変遷

女子レーサーの歴史は非常に長く、競技開始、つまり1952年からすでにレーサー登録の記録が残っている。1954年には初めて女子レーサーのみによるレースがボートレース芦屋(福岡県)にて開催された。その後、人数は減少し一時は4名にまで減ったこともあるが、徐々に増加、1987年には女子リーグ(当時の名称)が創設され、現在では年間単位で開催されるシリーズ戦がふたつ行われている。



2016年9月に行われたボートレーサー養成所の119期卒業レースでは、女子レーサーの土屋南(岡山)が準優勝。

女子レーサーの数

現在登録されている女子レーサー数は209名(2017年2月14日現在)。2012年7月の時点で175名だったことを考えると、かなり増加している。ボートレーサー養成所を経て半年ごとに新人レーサーはデビューする。最近では毎年10人前後の女子レーサーが誕生している。



日高逸子は、SGレースに何度も出場する強豪だが、ふたりの子供を育て、50代となった今でも現役だ。

出産へのサポート体制

ボートレーサーに対するサポートの中には、女子レーサーに対する産休や育休サポートがある。通常、レーサーが長期間休むと復帰後にランクが落ちる。すると出場できるレース数は減ることになるが、女子レーサーが産休や育休を取った場合、ランクは下がっても、休む前のランクに応じた出場レース数が保証される。レース勘を早く取り戻せるし、賞金が大きく減ってしまうことも防げるのだ。



レディースチャンピオンは、女子戦としては最も古いグレードレース。2016年の第30回大会では海野ゆかりが優勝した。

特別戦の開催

女子戦は古くから行われていたが、グレード(格)の高いレース(特別戦)が初めて開催されたのは1987年のこと。女子王座決定戦がそれで、当時はGIIの格付けだった。この格付けは2000年にGIへと昇格、2014年からはレディースチャンピオンと呼ばれるようになった。クイーンズクライマックスは2012年、そしてレディースオールスターは今年からの開催だ。



女子戦では、ファンが自作し、ボートレース場に依頼して掲出される横断幕が数多く見られる。

女子戦は3種類

ボートレースは男女の混合戦の他に、女子レーサーだけで行われる女子戦が大きく分けて3つある。ひとつは登録16年未満の女子レーサーで行われるヴィーナスシリーズ。そして、すべての女子レーサーが出場資格を持つGIIIオールレディース。さらに、男女の選手が出場する開催ではあるが、レースは男女別々に行い優勝も男女別に決められる男女W優勝戦だ。



2016年の優秀女子選手は松本晶恵。年間5回の優勝と女子における獲得賞金額1位が評価された。

優秀女子選手賞

毎年行われる優秀選手表彰のなかには、その年に最も活躍した女子レーサーに贈られる優秀女子選手賞がある。過去5年の受賞者は、松本晶恵、寺田千恵、日高逸子、平山智加、三浦永理。以前は連続受賞も目立ったが、最近では年替わり。それだけ女子レーサーの層が厚くなってきた証ともいえる。

ボートレースでは女子レーサー達が輝いている!!

年間にふたつのプレミアムGI、すなわちクイーンズクライマックスとレディースチャンピオンが開催されるボートレースの女子戦。前項で紹介したように、ここにGIIIレディースオールスターも加わった。この女子戦人気の高まりにより、今ではTVによる密着取材なども見られるようになったほどだ。ここでは女子戦の歴史、レースの種類、実力、そして職業としての女子レーサーなどについて概観する。

最高ランクのA1に27名

ボートレーサーは6ヶ月に一度、勝率や連対率(2着や3着までに入る率)、事故率、出走回数などをもとに、A1・A2・B1・B2というランクに分けられる。A1が最高ランクで、現在、323名中女子レーサーは27名いる(2017年前期)。A1ならばGIレースという高い格付けのレースを走ることも可能で、高い賞金を狙うことができる。



2013年1月、尼崎センブルカップ(開設60周年記念競走)で優勝した平山智加。女子が周年記念レースを優勝したのは56年ぶりのことだった。

女子レーサーの特集サイト

人気の高まりを受けて、昨年末に女子レーサーの気になる情報や魅力を伝えるウェブサイト『Ladies Information(レディースインフォメーション)〜まると女子ちゃんねる〜』をオープン。女子レーサーのプライベート情報や能力分析など、全女子レーサーの情報を網羅した「女子レーサー名鑑」をはじめ、女子レースの結果、各レース場の女子レーサーイベント情報などを発信している。



『Ladies Information〜まると女子ちゃんねる〜』は、ボートレースオフィシャルウェブサイトの「ボートレースを知る楽しむ」メニューから閲覧できる。

SGレースと女子レーサー

最近では、女子レーサーがボートレースの最高峰ランク、SGレースに出場することも多くなった。まだ優勝者こそ出てはいないが、優勝戦にまで進出(優出)したことは過去に3回ある。2001年に唐津(佐賀県)で行われたグランドチャンピオンでの寺田千恵が初めてで、結果は5着であったが、女子初のSG優勝なるかと大きな話題となった。残りの2回は引退した横西奏恵さんが2006年と2011年に果たしている。



2001年のグランドチャンピオンで優勝戦に出場した寺田千恵。予選の得点率1位となり、有利とされる1号艇を獲得しての出走だった。

レーサー同士の結婚

女子レーサーと男子レーサーが結婚するケースもある。どちらも現役を続けることがほとんどで、レーサーとしての姓も当面はそのままということが多く。最も話題となったのは、2010年の横西奏恵さんと山崎智也(群馬)の結婚。横西さんは2回のSG優出歴を誇り、山崎はSGタイトルホルダー。超ビッグカップルと騒がれた。



横西奏恵さんと山崎智也。2011年のSGオールスターでは初日のドリーム戦に夫婦揃って出走し、横西さんが1着となった。山崎は3着。

開会式がファンに大好評

レース場に來場するファンに好評なのが、ほとんどの女子戦で実施される開会式でのレーサー紹介だ。出場する女子レーサーがファンに紹介されるのだが、なかには歌を歌ったり、コスプレを披露するレーサーもいる。またレース場によっては、初日に出場女子レーサーが入場門付近に集まってファンを出迎えることもある。



開会式でコスプレを披露する古川舞(左)や市村沙樹(右)はボートレース場のイベントなどにも出演する。

女子ボートレーサー長嶋万記は 一般社団法人を立ち上げてボランティア活動中!

当欄ではボートレース界とボランティア活動、その具体例などを紹介しているが、今回はレーサー個人にスポットを当てたい。様々な支援やチャリティー活動に携わってすでに7年以上、2年前にはそのための一般社団法人まで立ち上げているA1レーサー、長嶋万記だ。



2016年12月、クイーンズクライマックス直前にボートレース住之江(大阪府)でのオークションに集まった女子レーサーたち。

2009年にスタート 支援の実績は豊富

長嶋万記が支援活動をはじめたのはデビュー7年目の2009年のこと。プロのボートレーサーとして何か社会貢献ができないかと考えたことがきっかけだ。その活動を「マキプロジェクト」と名付け、様々な人を「マキこみ」つつ、しかし「できる人ができることをできる限り」というスタンスで続けてきたという。

そして2014年2月、さらに活動の幅を広げるために、一般社団法人ZEROを立ち上げた。この活動に賛同した選手の賞金をもとにして、様々なグッズを製作、このグッズや選手出品によるオークションの売上を資金として、支援活動を実施している。これまでに東日本大震災や熊本地震復興、宮崎口蹄疫被害への支援、福祉施設への教材支援など数々の実績をもち、また最近では動物愛護活動にも力を入れている。

賛同するレーサーも多数 自身のレースも好調維持

このマキプロジェクトに賛同し、協力するボートレーサーは多い。たとえば2016年12月にボートレース住之江(大阪府)で行われたチャリティーオークションには、20名以上もの女子レーサーがグッズを出品していたし、中には手作りのカレンダーを提供する者もいた。もちろん、イベントによっては男子レーサーからの協力もある。

過去に実施したオークションでは100万円近い売上を記録したことも。こうした活動内容や収支も自身のブログ等でしっかりと報告されている。なお、長嶋自身は子育てとレースを両立、そのなかでこうした社会貢献を続けている。それでいて2016年は優勝5回の実績を残し、女子戦の最高峰レースであるクイーンズクライマックスに出場しているのだ。



2016年5月、ボートレース浜名湖(静岡県)で行われたチャリティーオークションの様子。大勢のファンが集まった。



熊本地震復興のために寄せられた支援金。



復興支援金で工事用の資材を購入、復興作業を行う人たちのもとへ届けられた。



2016年7月、漁業復興のボランティアで石巻市へ。

BOATRIVIA

～ボートの豆知識～

女子レーサーとしての有利と不利

“体重が軽いことは何よりのメリットとなる”

男女混合戦では 顕著に差が出る?

ボートレースでは男女のレーサーが同時に競走を行う混合戦が基本だ。この時、女子レーサーであることのメリット、デメリットはどのようなものだろうか。

メリットとして最大のものは、体重が軽いことがあげられる。過剰な減量を防止するため、レーサーには最低体重制限が設けられており、男子は51kg、女子は47kgと定められている。たとえば女子が47kgを下回った場合でも重りを積んで47kgとするが、男子で51kgを大きくオーバーする者がいた場合そのままのため、両者には5～6kgの差が出ることも多々ある。

体重による差を検証した「ボートレースを科学する」という映像がある(BSフジ「BOAT RACEライブ 勝利へのターン」ウェブサイト内で閲覧可能)。その中で、ある選手が10kg重りをつけて走ったところ、つけなかった場合に比べて、3周回タイムで約2秒、また最高速度に到達するまでの時間が3秒も長くなったという。時々、混合戦で1着を走る女子レーサーが後続を大きく引き離すシーンも見られるが、それはこの体重差による影響が大きいと思われる。



ボートレーサーは、レース開催中は毎朝体重測定を行う。減量により日が経つにつれ体重が減っていくケースもよくみられる。



体重が規定よりも軽い場合に選手が着用するベスト。これを着用しても足りない場合はボートの底に重りを敷くことになる。

ターンの巧拙は パワー差の表れ

逆に、デメリットとしてあらわれるのはやはり肉体的なパワーの差だ。

多くのボートレーサーは、ターンの際に右足に大きく体重をかけてボートを安定させながら走っている。男子の場合は力が強いので、ほとんど1本足で立ちながらターンをするレーサーも多いが、女子はそこまでの筋力がないため、大きな力がかかることが難しい。すると遠心力に負けて旋回半径が大きくなったり、ターンが不安定なものになりやすい。混戦状態のレースで女子レーサーが脱落するシーンが見られるのは、こうした理由によるものだろう。

また、これは競走におけるデメリットではないが、女子はA1レーサーでもグレードの高いGIレースに出走する機会が少ない。A1は女子戦に引っぱりだかという事情が大きい。GIレースは賞金も高いので、SGチャレンジカップやグランプリ出場のための賞金争いでは若干不利になることは否めない。ただし、さらに格の高いSGレースの場合は、条件をクリアすれば出場できる。たとえば昨年のSGダービーには3人の女子レーサーが出場を果たしている。



パワーで劣る女子レーサーのターンは男子レーサーに比べてダイナミックさに欠けると言われるが、遠藤エミは男子並の豪快なターンをすることで知られる。



昨年新設された3日間開催のBOATRACE/バトルーナメント。ユニークな勝ち抜きトーナメント方式で注目を集めたが、第1回大会では女子の今井美亜が男子を抑えて優勝。



宇野弥生は女子の中でもスタートが早いことで知られる。混合戦でトップスタートから男子レーサーを突き放すシーンが見られることも。



男子レーサーに先行する松本晶恵。2016年のクイーンズクライマックス優勝でもその実力を示した。



2016年のボートレースダービーで選考勝率1位となった平山智加。この順位により初日に行われたドリームレースに1号艇で出走した。

日本財団の紹介



日本財団に関する情報はこちらから ▶ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>
日本財団会長 笹川陽平ブログ ▶ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。
年の三分の一を海外活動に充て、
海外情報や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。

日本財団会長の
笹川陽平ブログ



全国ボートレース場の紹介



ユネスコの世界文化遺産に指定されている厳島神社へ渡る、フェリー乗り場のすぐ横にあるボートレース場。見晴らしの良い日には神社の大鳥居を望むことができる。遠方からの来場なら観光とセットにするファンも多い。競走水面は瀬戸内海にあるので、水質は海水。干満の差が激しく、満潮時は内寄りのコースが有利とされ、反対に干潮時にはセンター、アウトからの攻めも利く。周年記念の名称は「宮島チャンピオンカップ」。1Fにはコンビニを併設した外向発売所のPALBOAT宮島が隣接しており、その2階にはパーティーやイベントなどに無料で利用できる特別観覧施設「ROKU宮島」もある。

● 指定席

1F:2,000円
4F:B指定席 1,000円
5F:A指定席 3,000円



モンタ



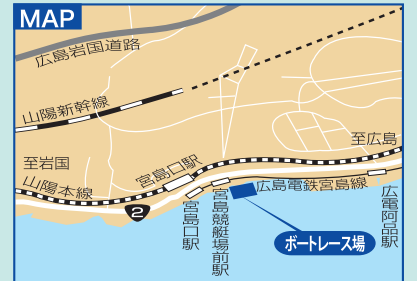
交通アクセス

〒739-0411 広島県廿日市市宮島口1-15-60

電車で越しの方 山陽本線「宮島口」から徒歩3分 →
広島電鉄宮島線「競艇場前」からすぐ

車で越しの方 山陽自動車道
「廿日市IC」から5分 / 「大野IC」から10分 →

ボートレース宮島



● 詳しくはウェブサイトでご確認下さい。 <http://www.boatrace-miyajima.com/> ボートレース宮島 🔍

取材の申し込み・お問い合わせはこちらまで



広報部 | 〒108-0073
広報宣伝課 | 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館

TEL 03-3451-0501

FAX 03-3451-0429

BOAT RACE 振興会ウェブサイト
▶ <http://www.boatrace-pr.jp/>
BOAT RACE オフィシャル web
▶ <http://www.boatrace.jp/>

BOAT RACE
振興会ウェブサイト



「ISO/IEC27001:2005」を 認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、
全部門を対象とした情報セキュリティマネジメント
システム (ISMS) の国際認証基準
「ISO/IEC27001:2005」を認証取得しました。

編集後記

かわいい動物と触れ合え、海の幸から現地でしか味わえない甘味まで様々なグルメが楽しめ、世界文化遺産にも行ける。どこの話かといえば、そうです、広島県の宮島です。

瀬戸内海に囲まれ、島に入った直後から鹿がお出迎え。新鮮な牡蠣や、揚げもみじなど珍しい甘味が食べられ、世界文化遺産の厳島神社が参拝できます。青い海と空をバックに見る朱色の厳島神社の鳥居はとてもきれいですよね。

そしてそんな宮島と隣接しているボートレース場が、今号ご紹介しているボートレース宮島です。宮島に渡る船の乗り場のすぐそばにあり、観光の前後に気軽に立ち寄れる好立地。旅打ちに人気なものも頂けます。景色をみて、おいしいものを食べ、神社を参拝してからボートレース場へ行く、そんな幸せすぎる旅行…ではなく内容充実の取材のお問い合わせ、お待ちしております！



世界遺産
厳島神社

入社3年目 編集ディレクター
安藤 瞳